

Gor for it!!

豊中市立第五中学校
第62期
第3学年 学年通信第4号
2015年5月25日

～3年最初の中間テスト・各教科からのコメントです。

少し日がたちましたが、先日の中間テストについて、各教科の先生方からメッセージをいただきました。3年生最初のテストでしたが、ほとんどの皆さんは、テスト当日も真剣な表情で答案作成に取り組んでいて、三年生らしくなってきたな、と感じました。さて、手ごたえはどうでしたか？。示されたコメントを参考に、次へのステップアップをめざしましょう。

【技術・家庭】

【1】～【3】基本的な知識について、多くの人が理解できていました。ラジオ製作では、回路図にかかれた記号と実物と、説明するときの部品名が分かることが大事なところですよ。

【4】【5】は、自分で記述する問題で、テスト勉強をしていたかどうかで、解答が分かれていました。

【8】については、家庭内での電気製品の安全な使用について、正しく理解していた人と、そうでない人がいました。なんとなく、電気製品を使うのではなく、「これは安全」、「これは危険」ということが、理論的に判断できるような技能を身につけて欲しいです。【9】【10】は、データから読み取る問題でした。世の中には、さまざまな事柄について、いろいろなデータがあります。1つのデータで判断できる力を付けることと、さまざまな立場からのデータを冷静に見ていく態度とを身につけて欲しいです。今回は、1つのデータで判断する問題で、比較的良好に解答できていました。

【11】普段の生活についての問題でした。実際には、家でやっていないことだろうなという解答もありましたが、それを家でやってみる。実践する態度が大事です。夏休みの宿題に家で実践したレポートを課題として出す予定です。

【国語】

3年生になって初めてのテストで、緊張した人が多くいましたね。テストは良い意味での緊張、ストレスととらえて、これからも積極的にチャレンジしてください。繰り返し復習することで、自信をつけて、あせらずに解いていきましょう。

解答の仕方として、基本は、だれにでもわかりやすい字で書き、わかりやすく説明できていることを心がけてください。

答えの書き方は授業でも取り上げましたが、問題によって答えの書き方が変わってきます。「なぜ～ですか。」と聞かれたら、「～から。」「～ため。」「～ので。」で答えます。「～は何ですか。」と聞かれたら、「何」にあたる名詞（ものの名前を表す言葉）で答えます。もしくは「～こと。」で答えます。そういった基本的な解き方に慣れていきましょう。

今回は実力テストですね。今回、自分が間違えて悔しかったところは、絶対に間違えないように、問題をよく読んで早とちりしないようにがんばってください。

【理科】

問題文の量が増えてくると、どうしても最後まで読めていないことがあります。最後までしっかり読んだ上で問題に取り組みましょう。回路図の問題など図が載っている問題については、分かっている情報を書き込みましょう。計算の過程や分かった情報などはできる限り問題用紙に書き込んで、情報を残していきましょう。前半の計算問題では、多くの人が諦めずに取り組んでいましたが、計算ミスで微妙に値が違う答えを多々見かけました。非常にもったいないので、普段から自分の力で計算をし、必ず見直すようにして下さい。後半の電流や磁界についての問題は、多くの人がよくできていました。テスト前に疑問点を解決しようと努力した人が多かったからだと思います。

勉強の成果はすぐにあらわれるものではありません。時間はかかりますが、コツコツ努力して積み重ねていくことが大切です。根気強く頑張りましょう。次は実力テストです。時間をうまく使って、勉強に励んでいきましょう。がんばれ、6 2期!!

【英語】

今回の考査では、**1**～**3**は理解能力、**4**～**7**は表現能力、**8**は知識理解について問う目的で出題しました。**1**～**3**のリスニング問題は、受動態と第五文型（call+A+B/ make+A+B）の内容が盛り込まれた内容でした。リスニング問題の正答率は7割でした。リスニング問題は8割以上とれた方がいいので、入試本番に向けて、今後はリスニング対策もやっていきます。**4**～**6**は、1・2年生の文法復習と受動態についての問題でした。助動詞・動名詞の復習が必要であると感じました。入試で必ず出題される文法項目ですので、しっかりと復習しましょう。**7**は不規則動詞の変化について、**8**は Lesson1 本文についての問題でした。この最後の大問2題については、授業や小テストで何度も復習したので、正答率が7割と高かったです。

全体的には、ほんとうによく頑張った結果となりました。「音読を多くすることで本文が覚えられるようになった」「授業の中で復習がしっかりできる」「2年の時より点数があがった」「3年生になったから苦手な英語を何とかしたい」といった、前向きな声が多く聞こえてきます。入試までまだまだたっぷり時間があります。あせることはありません。毎回の授業を大切にすること一コレがいちばん大事。受動態の次は「現在完了」です。前向きな姿勢のまま、新しい単元も頑張っていきましょう。

【数学】

今回のテストでは[4]～[6]は基礎的な知識理解度の確認、[1]～[3]・[7]～[9]は数学的な技能の習得度の確認、[10]～[12]は数学的な見方考え方ができるかの確認という目的で出題しました。

1・2年時の学習範囲からの問題であった中で、特に[1](3)(4)の計算、[3]の一问一答問題、[9]・[11]の確率問題が正答率 50%以下で非常に気になりました。実力テストに向けて、まず一问一答形式の問題で基礎力を身につけていってください。3年の学習範囲では[6](5)(7)(8)の因数分解、[10]の計算が正答率 50%以下でした。このあたりは頑張っただけです。

3年生になって、授業では「がんばろう」としている人が多いことにとってもうれしく思っています。提出物を見てもしっかり取り組んでいる人が大多数でした。また、テストの結果からも3年生になってから学習した「展開」「因数分解」はできるようになっている人は多かったです。正答率 70%以上の問題が大半でした。「やればできる！」この言葉に間違いはないですね。

基礎的な計算力をつける必要がある人、応用問題に力を入れないといけない人など取り組む課題はひとりひとり異なると思います。それぞれが目標を定めて時間を有効に活用してください。

【社会】

3年生になってからの授業では、良い意味の危機感や緊張感をみなぎらせている姿がどのクラスでも見られ、学習内容に対して前向きに、かつ興味を持ってとらえようとしている人が増えてきていることに、頼もしさを感じています。(まだ少しだけ本を読もうとしたり、居眠りしたり、という人もいますけど) 答案の記入でも、何とかしよう！と記述量は全体的にも増えている状況です。【1】～【3】の世界史単元では、基本用語の理解は深まっていましたが、あともう少し教科書の読み込みやノートの見直しがあればというところでした。【4】以降の幕末から明治維新にかけての内容については、用語や人物名が数多く登場し、その前後関係などを把握するのに苦労していた人も少なくなかった一方、記述のしかたに工夫したノートを活用して、対策に取り組んでいる様子も伺え、着実に理解度が深められて答案作成にも反映されたのかな、と思います。引き続き、日々の授業を大切に復習を欠かさず頑張りましょう。

学習は引き続き近代史から現代史が続き、その後公民的分野に移行しますが、そのまえに 6月 5日に1回目の実力テストです。修学旅行などのスケジュールもあり大変ですが、まずは学習の優先順位を見極め、時間を有効に活用して準備学習に取り組んでください。副教材はめいっぱい活用してください。

【音楽】

今回のテストでは、“調の判定”という新しい単元を学習しました。“長調”“短調”を判定するという内容で出題されましたが、ほとんどの人がよく理解し、できていました。また、音符、休符の計算問題という応用問題も出題されましたが、この問題については理解できていない人が多かったように思います。その他の問題については、今までの出題内容とほぼ変わりはない問題だったと思います。次回は2学期の中間テストで実施されますが、今回と同様、調の問題や音符の長さに関する問題が出ますので、忘れないように復習しておきましょう。

五中では、日常の授業改善に取り組むとともに、週末課題を実施しています。また、テストファイルを活用し、テストに向けた計画を立て、学習に自主的に取り組む姿勢を養い、テスト後には、各教科からのコメントによる学習への助言やテスト直し等の振り返りなどを行ってきました。

昨年度からテストの問題の傾向を大まかに把握するために、定期テストにおける度数分布表をお渡しし、各教科からのコメントを補助する形で見ていただくことになりました。あくまでも、学習に取り組む姿勢と照らし合わせて、次の学習につながることを目的としています。学習は、他人との比較ではなく、学習課題へどんなふうに取り組んだのかを大事にしてください、保護者と生徒本人が、学習へのがんばりを認め合い、課題を見つけるきっかけにしてくださいと思います。

豊中市立第五中学校教育課程推進委員会